

京都市域地域医療構想調整会議の議事概要

1 開催日程 令和7年2月12日（水）15時30分～17時

2 開催方法 web 会議

3 出席者 出席者名簿を参照

4 議事の概要

【報告事項（公開案件）】

(1) 新たな地域医療構想に関する国の検討状況について
事務局から資料1に基づき説明。

〈主な意見〉

- ▶ 意見なし

(2) かかりつけ医機能報告制度について
事務局から資料2に基づき説明。

〈主な意見〉

- ▶ 意見なし

(3) 地域医療連携推進法人の取組状況について

- ・地域医療連携推進法人 Just2Ys League 守上代表理事から資料3に基づき説明。
- ・年末年始（12/28～1/5）には、往診代行の体制を確保していたものの、結果的には、各医療機関による往診対応ができたため、連携法人による往診代行は行われなかった。

〈主な意見〉

- ▶ 意見なし

(4) 地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業について
京都府立医科大学猪飼准教授及び京都大学今中教授から報告。

〈質疑応答〉

- ▶ 糖尿病患者について、協会けんぽ加入者の方が国保加入者に比べて男女差が大きいというデータがあるが、加入者の男女比率の影響によるものか。
⇒ 協会けんぽについては、主に会社員等が加入するものであるため、男性が多い傾向にはあるが、糖尿病通院治療患者の男女比（6：4）は、加入者の男女比より高い傾向にある。現時点では原因について結論付けができておらず、引き続き分析を続けたい。

- ▶ 人口 10 万人あたりの病院数と救急の受入拒否回数が反比例しているデータがあるが、病床数や病床機能ではなく、病院の数による分析ということによいか。
⇒ 認識のとおり

- ▶ 京都・乙訓医療圏のような病床数や医師数が多い医療圏で救急の受入拒否件数が多いということについて、詳細な理由がわかれば教えてほしい。
⇒ 病床数や病院機能との相関についても分析したい。

(5) 京都式地域包括ケアの推進について 事務局から資料 5 に基づき説明。

〈主な意見〉

- ▶ 意見なし

【協議事項】

(1) 京都府地域包括ケア構想について

- ・事務局から資料 6-1、6-2 に基づき説明。
- ・病床移転、病床機能転換等について合意が得られた。

(2) 外来医療における紹介受診重点医療機関の現況等

- ・事務局から資料 7-1、7-2 に基づき説明。
- ・紹介受診重点医療機関として既に公表されている京都市内 14 病院の公表継続及び宇多野病院の新規公表について合意が得られた。

【地域医療構想アドバイザーのコメント】

▶ 京都府立医科大学 吉井講師

- ・新たな地域医療構想を見据えつつ、京都府の医療資源の適正配置について、二次医療圏間の距離や患者の流出入等の地域制を加味しながら検討を進めていくべき。

▶ 京都大学 今中教授

- ・新たな地域医療構想は、現行の医療計画の上位計画に位置付けられ、高齢者救急、在宅・介護連携、急性期病院の拠点化等を推進していくこととされており、今後、地域医療構想調整会議がますます重要になるものと認識している。
- ・本日報告したデータ分析事業について、分析内容の要望等があれば御意見いただきたい。